

図書館だより 1月号

2023年1月12日発行
大田区立志茂田中学校図書館 読書学習司書



新しい年が始まりました！

みなさん今年の目標は立てましたか？「一年の計は元旦にあり」(注)と言われるように、読書も「月に何冊読む」「古典や文豪の作品を読む」等、目標を立てると良いですね。今年の干支は「卯」うさぎのように目標に向かってジャンプ！

(注)「一日の計は^{あした}晨にあり 一年の計は元旦にあり」

何事も初めが大切だから、しっかりした計画を立て、着実に実行せよとの戒め。「晨」とは朝のこと。後半部分がよく用いられる。(『故事ことわざ辞典』旺文社より)

1月の学校図書館

月	火	水	木	金
	1月10日 始業式 開館	1月11日 休館	1月12日 開館	1月13日 開館
1月16日	1月17日 開館	1月18日 休館	1月19日 開館	1月20日 開館
1月23日	1月24日 開館	1月25日 休館	1月26日 開館	1月27日 開館
1月30日	1月31日 開館			

<開館日>

月・火・木・金

(水曜は休館)

<開館時間>

10時30分～17時

<貸出冊数と期間>

1人3冊まで、2週間貸出。

長期休み前特別貸出は

1人5冊まで。



※1月21日(土)は土曜授業ですが、学校図書館は休館です。

冬休み前特別貸出図書の返却期限は

1月16日(月)です。



忘れず期限までに返却してください。

まだ読み終わっていない場合は、一度返却してから、また貸出手続きをするようにしてください。

図書館が閉まっているときは、図書館入り口に設置している「返却図書BOX」を利用してください。

紛失等返却できない理由のある人は、担任の先生、または司書まで連絡してください。

図書館の本はみんなの本です。返却期限を守って、気持ちよく図書館を使いましょう。



読書週間イベント「本でビンゴ」終了しました。

ビンゴ達成(3冊読了)・・・17名

ダブルビンゴ達成(5冊読了)・・・12名

トリプルビンゴ達成(6冊読了)・・・6名

9マス完成(9冊読了)・・・6名

以上のような結果でした。普段読まないジャンルも「意外に面白い」という発見があったのではないのでしょうか。

今回参加しなかった人も次回は挑戦してみてください。

裏面も見てね。

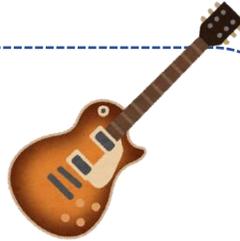
新着図書紹介



新しい本が入りました。特におすすめの4冊を紹介します。
ほかにもたくさんの本があります。
ぜひ「新着図書コーナー」に来てください！

『その扉をたたく音』

瀬尾まいこ／著 集英社(分類 913)



29歳無職、夢はミュージシャン。夢を捨てきれないまま、怠惰な日々を送る宮路は、演奏に訪れた老人ホームで介護士・渡部の神がかったサクスの演奏を耳にする。「神様」に出会った興奮に突き動かされた宮路はホームに通い始め、やがて入居者とも親しくなっていく。人生の行き止まりで立ちすくんでいる青年と、人生の最終コーナーに差し掛かった大人たちが奏でる感動の物語。

『中学生から知りたいウクライナのこと』

小山哲・藤原辰史／著 ミシマ社(分類 238)



ロシアによるウクライナ侵攻を受けてミシマ社開催のオンラインイベント「歴史学者と学ぶウクライナのこと」の内容を再構成、加筆修正したものを軸に、ウクライナの過去と現在についてまとめた1冊。ポーランド史と、ドイツを中心とした食と農の現代史の研究家、ふたりの歴史学者の発する言葉に、多くのことを考えさせられる。ウクライナを知る第一歩として。

『建築家になりたい君へ』

隈研吾／著 河出書房新社(分類 520)



新国立競技場を設計した著者。
なぜ建築家を目指したのか、
これまでどんな建築を手掛けてきたのか、難題だらけの仕事にどう挑むのか。日本を代表する建築家が贈る10代へのメッセージ。建築家とは、そしてこれからの建築とは—。
建築家を目指している人はもちろん、進路に迷っている人にも読んでもらいたい一冊。

『著作権ハンドブック 先生、勝手にコピーしちゃダメ』

宮武久佳・大塚大／著 東京書籍(分類 374)



教育現場では、先生も生徒も、著作権のことをあまり気にせずに、コンテンツを自由に使える仕組（著作権法の第35条の規定）があるが、オンライン授業が一般的となった今、生徒の端末への公衆送信はどこまで可能なのか。本書は、複雑な著作権法について、実践的に使えるように、一問一答形式で、わかりやすく解説。